

総合的な学習の時間学習指導案

令和元年9月25日(水)第3校時(10:40~11:25)4年 組教室

小学校 4年 組 指導者

授業の視点

課題を設定する場面において、車いすやブラインドウォークなどの体験別に分かれて、学級全体で出た課題を類型化(KJ法)して整理していくことによって、自分が追究したい課題を決定しやすくなるであろう。

1 単元 福祉について自分たちにできることを考えよう

2 単元設定の理由

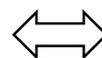
(1) 教材観

小学校の設備には、2階に上がることができるスロープ、エレベーター、段差のない児童玄関、身障者用トイレ、階段を知らせる点字ブロック(新校舎)等、人に優しいバリアフリーがある。普段、当たり前のように生活している場所で、「小のいいところ」をたくさん見つけることができる。前任校では昨年度、肢体不自由のある生徒を受け入れるために、大規模な工事を行った。その工事のおかげで、けがをしている生徒の対応、給食の運搬など便利になったことが増えた。子どもたちは、「小のよさ」を認識しながら、体験的な活動を取り入れることで、自分たちの想像以上の苦労があることに気づけば、障害のある人やお年寄りを取り巻く問題を自分の問題としてとらえることができる。

自分たちでもった課題を、身近な地域の中で追究活動を行うことにより、自分たちが生活している場所では、様々な人が生活しやすいように工夫がなされていることやもっと工夫すべきことが見えてくる。そして、自分たちにもできることがあることを考えさせていきたい。

〈他教科等との関連〉

国語：だれもが関わり合えるように「手と心で読む」
道徳：進んでみんなのためにはたらく「点字メニューにちょうせん」
チャレンジスクール：宿泊施設や施設周辺を活動して感じたこと



福祉学習の進め方
視覚障害の理解
調べ活動

(2) 児童の実態 アンケート結果や日常の観察から 児童数 名 特別支援学級在籍 名含む
(名アンケート実施)

〈よりよく問題を解決する資質や能力〉

〈学び方やものの考え方〉

〈主体的、創造的、協同的に取り組む態度〉

〈自己の生き方〉

3 目標

福祉に関わる体験活動を通して、障害をもつ人々や高齢者の立場に立って考え、行動することの大切さに気づき、自分ができることを考えることができる。

4 評価規準

よりよく問題を解決する資質や能力	学び方やものの考え方	主体的、創造的、協同的に取り組む態度	自己の生き方
聞いたことや疑似体験を通して、課題を見つけ解決の見通しをもって自分なりの方法で意欲的にまとめ、伝えようとしている。	体験したことや調べ学習を通してものの見方や考え方を深めている。	体験したことや調べたことを、互いに関連させながら話し合い、障害のある人々や高齢者の立場に立って、福祉に関心を持ち、その現状を考えようとしている。	障害のある人々や高齢者の立場に立って考え行動することの大切さに気づき、自分ができることを考えて実践しようとしている。

5 指導と評価の計画

学習 過程	時間	学 習 活 動	学 習 へ の 支 援	評価項目 (方法)
福祉について知る	2	・福祉についてのイメージを広げるためにウェビングを活用する。	・福祉についての知識を広げにくくために、個人で考えたウェビングを出し合い、学級のウェブマップを作成する。他学級で作成したウェブマップを見合い、共有していく。	・福祉についての知識を広げている。 (☑観察・ウェブマップ)
	1	・学級のウェブマップを作成する。		
	1	・他学級で作成したウェブマップを見合う。		
共通体験を行う	3	・手話講演会で聴覚障害の方の話聞く。	・体験が「楽しかった。」「自分は健康でよかった。」で終わらないように、体験をする目的を理解していく。	・障害のある人や介助者の立場に立って体験をしている。(☑観察・ワークシート)
	2	・ブラインドウォーク体験をする。	・学級で共有できるように、体験活動をして気がついたことや考えたことなどを交流していく。	
	2	・車椅子体験をする。		
	2	・高齢者疑似体験をする。		
課題の設定	2 2-2 本時	・聞いたことや疑似体験をもとにして自分の課題を考える。 ・グループの課題解決計画を立てる。	・自分の課題がもてるように、体験別に分かれて、学級全体で出た課題を整理していく。 ・活動の見通しをもたせるために、課題解決計画を立てていく。	・意欲的に付箋を整理し、課題を考えている。(☑観察・ワークシート)
	1			

情報 の 収 集	追 究 す る	8 2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を解決するために追求活動をする。 中間交流会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題別にグループを作り、意欲的に活動を進めていく。 調べたことやグループの考えをまとめて中間交流会を行うことで、調べ直しや付け加え等がないか確認していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて意欲的に追求活動をしている。(☑観察・ワークシート)
整 理 ・ 分 析		3	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を、分かりやすく整理・分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理・分析した事柄は、最後のまとめ・表現で活用することを意識しながら進めていく。 国語科の「だれもが関わり合えるように」との関連を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を分かりやすく整理・分析をしている。(☑観察・ワークシート)
ま と め ・ 表 現	ま と め	5 1	<ul style="list-style-type: none"> グループに合った実践方法や表現方法でまとめる。 学習前と比較しながら振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを発表するだけでなく自分たちにできること、これからの課題等の考えをもたせていく。 自分の生活と結びつけて考えることができるように自分のこれまでの生き方と比べて考えさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> グループに合った実践方法や表現方法でまとめている。(☑観察・作成資料) 自分が実践しようとしている。(☑ワークシート)

6 指導方針

〈福祉について知る場面〉

- 福祉についてのイメージを広げるためにウェビングを活用する。その際、障害のある人ごとに分けて広げていく。
- 福祉についての知識を広げていくために、個人で考えたウェビングを出し合い、学級のウェブマップを作成する。他学級で作成したウェブマップを見合い、自分のウェブマップに付け足して共有していく。

〈共通体験をする場面〉

- 体験が「楽しかった。」「自分は健康でよかった。」「技術習得」で終わらないように、「サポートのあり方を考える。」「人とのつながりを構築する。」などの体験をする目的を理解させていく。
- 障害のある人と介助する人の立場を理解していくために、ペアになって両者を体験していく。
- 体験後の思いを残していくために、ワークシートを活用していく。「体験して調べてみたいこと。」「わたしたちにできること」も記入していく。
- 車いすやブラインドウォークなどの体験活動をして、気がついたことや考えたことなどを出し合い、問題点等をまとめて再度体験をし、「介助者の説明不足」等を改善していく。

- ・点字については、国語や道徳の学習と組み合わせて取り組んでいく。

〈課題を設定の場面〉

- ・自分の課題がもてるように、車いすやブラインドウォークなどの体験別に分かれて、学級全体で出した課題をKJ法で整理していく。
- ・中心課題に向かって、それぞれの課題を解決することを意識していく。
- ・疑問を解決するためにどんな課題を持てばよいか一人ひとりが考えていく。合わせて、課題設定の理由も考え、ワークシートに書いていく。
- ・活動の見通しをもたせるために、内容、方法、場所等を具体的に記入した課題解決計画を立てていく。

〈情報の収集の場面〉

- ・課題別にグループを作り、意欲的に活動を進めていく。
- ・必要に応じて、町のバリアフリーについて休日等を利用して調べるように勧めていく。
- ・調べたことやグループの考えをまとめて中間交流会を行うことで、調べ直しや付け加え等がないか確認していく。

〈整理・分析〉

- ・収集した情報を、分かりやすく整理・分析ができるように、具体的な技法を伝えていく。
- ・整理・分析した事柄は、最後のまとめ・表現で活用することを意識しながら進めていく。
- ・国語科の「だれもが関わり合えるように」との関連を図っていく。

〈まとめ・表現〉

- ・表現するための具体的な方法を伝え、グループに合った表現方法を見つけていく。
- ・調べたことを発表するだけでなく、自分たちにできること、これからの課題等の考えをもたせていく。
- ・学習活動を行うことにより、新たな課題である「もっと知りたいこと」「これからやってみたいこと」「やらなければならないこと」等の明確な視点をもって、考えを整理していく。

7 本時の学習

(1) ねらい

車いすやブラインドウォークなどのこれまでに体験してきたことを、KJ法で整理して、課題を設定する。

(2) 準備

教師：ワークシート 付箋 模造紙 疑似体験の写真

児童：総合ファイル（既習のワークシート） 探検バック

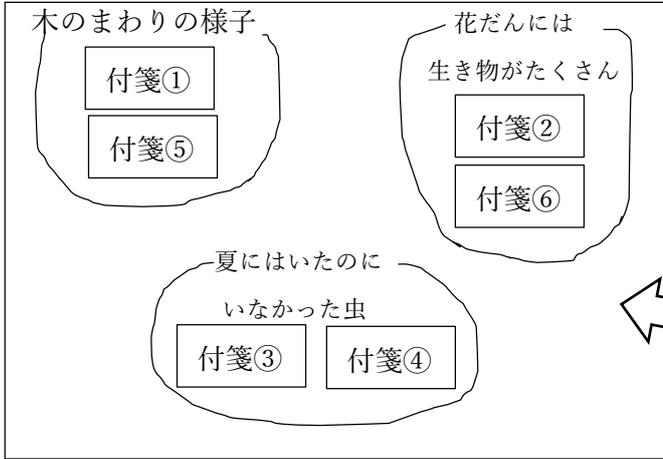
(3) 展 開

学 習 活 動	支 援 及 び 留 意 点	時 間	観 点 評 価 項 目 (方 法)
1 前時の学習を ふり返り、本時の めあてを確認す る。	・前時に、「調べてみたいこと」を疑似体験別に付箋に 書いたことを想起し、付箋を分類して課題を決定して いくことを伝える。 めあて：「調べてみたいこと」を分類して、課題を決めよう！	3分	
2 前時で、考え ていた課題を振 り返る。	・自分が前時に考えていた課題と分類した後の課題 を、「まとめ」の時に比較していく。 分類項目	2分	
3 体験別のグル ープごとに、KJ法 で整理していく。	手話 ブラインドウォーク 車いす 高れい者 ・具体例を出しながら、付箋に書いた「調べてみたい こと」を整理していく方法を伝えていく。 ・付箋のまとまりをマッキーペンで囲み、見出しを付 けていくよう指示する。 ・分類が難しかったり、見出しが分からなかったりす る場合は、支援していく。 ・グループ全員で協力して整理できるように声をかけ ていく。 ・整理した「調べてみたいこと」をグループごとに、 端的に発表させていく。	20 分	
4 中心課題を 確認していく。	・中心課題に向かってそれぞれの課題を解決していく ことを意識させていく。 中心課題：障害のある人やお年寄りに、自分たちができることを考えていこう！	3分	
5 自分の課題 を決めていく。	・グループで分類した見出しを基にして、その中でど のようなことを調べていきたいかワークシートに記 入させていく。 ・すぐに解決できないなど、課題としてふさわしくな いことの例を挙げて示していく。 ・どうして、そのことを課題にするのか課題設定の理 由を書かせていく。	15 分	解 聞いたことや疑似 体験を通して、課題を 見つけている。(観察・ ワークシート)
6 次時の学習の 確認をする。	・次時の学習では、課題解決のための計画を立てるこ とを知らせる。	2分	

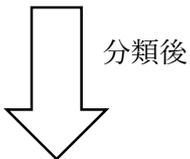
8 板書計画

めあて：「調べてみたいこと」を分類して、課題を決めよう！

KJ法 例：自然がいっぱい〇〇公園

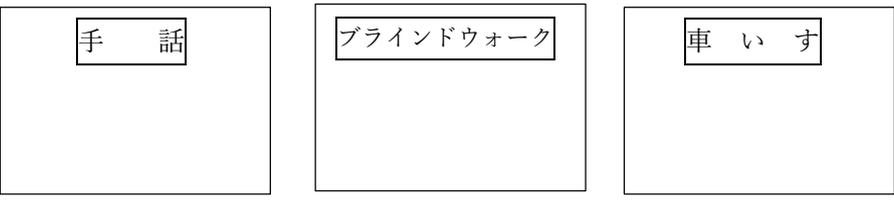


- ・文脈（内容）が近い感じのもの
- ・小さいまとまりから作る。
- ・全体を見てまとまりを合わせていく。
- ・まとまりに見出しをつける。

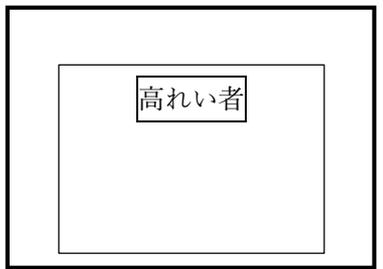


めあて：「調べてみたいこと」を分類して、課題を決めよう！

中心課題：障害のある人やお年寄りに、自分たちができることを考えていこう！



移動式ホワイトボード



しょうがい
～障害のある人やお年よりに

～

4年組番名前()

めあて：

1 前の時間に考えた課題（調べてみたいこと）は

体験

で

2 中心課題

3 決めた課題

体験

で

4 この課題にした理由

5 今日の学習を振り返って：グループでKJ法をして。調べてみたい課題は見つかったか。